

共に

塩尻市市民交流センター・生涯学習部
男女共同参画・若者サポート課

塩尻市大門七番町3番3号
TEL：(0263) 52-0280 内線3152
FAX：(0263) 54-2705
Eメールアドレス：kyoudou@city.shiojiri.lg.jp



平成30年12月8日に行われた「豊かな心を育む市民の集い」において「ぬくもりの修行」と題し、青山俊董老師よりご講演いただきました。



女 (ひと)と男 (ひと) 21ワーキンググループでは、男女共同参画をテーマとして講演会、セミナー、地域での井戸端会議などを企画・運営しています。

特集

学びを続けて輝く日々

人口減少時代を迎え、これまで以上に女性の社会進出が求められています。「学び」を続けて輝く日々を送る女性おふたりにインタビューさせていただきました。



令和元年度男女共同参画週間キャッチフレーズ



男女共同参画講座では、女性の体づくり講座を開催しています。写真は「美姿勢教室」の様子。



毎年6月23日から29日までは男女共同参画週間です。6月21日には塩尻駅、広丘駅で男女共同参画の街頭啓発を行いました。



学びを続けて輝く日々



豆腐マイスター 林 真理さん (宗賀在住)

日本豆腐マイスター協会が豆腐を伝える者の育成を目的に認定する資格が「豆腐マイスター」で、その上の資格の「食育豆腐インストラクター」を県内で初めて取得しました。「子どもが輝く食育ネットワーク・松本」のメンバーで、豆腐をとおり学校や地域で食育に取り組んでいます。

Q: 現在、どのような活動をされていますか。

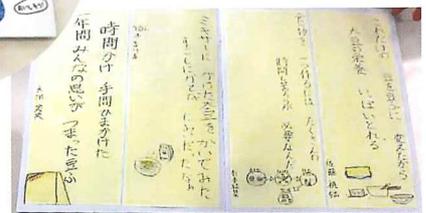
A: 豆腐の普及をはかるために小学校や公民館で、作り方や歴史、表示の見方などを教えています。子どもたちには、まず安全で材料を無駄にしないために失敗しないやり方を教えることに努めています。ほかにも、おいしい食べ方や豆腐屋さんの頑張りを伝える講座ができればと思います。

Q: 活動を始めたきっかけは何ですか。

A: 長野県野菜花き試験場に勤めています。大豆の育種に携わる研究職の方々のもとで長い間、豆腐を作る仕事をしていました。そこでの豆腐との出会いが、学びや資格取得の契機になりました。大豆の育種には15年かかるものもあります。塩尻特産の「あやみどり」はこの試験場で生まれた品種です。



学校から届いたお礼の手紙



Q: お住まいの地域にどんな印象をお持ちですか。

A: 結婚を機に23年前から塩尻に住んでいます。とてもいい所です。男女とも農業や食に興味がある人が多いと感じています。公民館活動が盛んで、多くの人ができる場所がたくさんあり、もっと活用することにより、可能性は広がると思います。

Q: 仕事に関する学びはどのようにされていますか。

A: 食を語るには幅広い学びが必要だと考え、雑穀アドバイザー(日本雑穀協会)と塩ソムリエ(日本塩ソムリエ協会)の資格も取りましたが、学びにはきりがありません。講習会などで外出することが多いのですが、夫はとても協力的で、試作品の試食もしてくれます。

Q: 将来にどんな夢をお持ちですか。

A: 豆腐作りが、食を考えるきっかけになってほしいと思います。市内の食のエキスパートが、互いに学び合いながら情報発信できるネットワークができたらいいなあと思います。



画家

和田 春奈さん (洗馬在住)

本の挿絵や抽象画（アクリル画）を描く創作をしながら、家庭生活や地域活動を行っています。創作活動は際限のない世界と言われ、常に研鑽に務めることがとても大切なことであると考えています。

Q: 現在、どのような活動をされていますか。

A: 父(和田登:児童文学作家)や他の作家の方のさまざまな種類の本に、挿絵を描いています。また、松本地域の絵画教室で抽象画を10年近く学び、作品は主に県内の各種展覧会で展示しています。地域での活動は、出来ることがあればお手伝いしたいと思い、最近では、洗馬公民館からの依頼を受け、公民館行事で子どもに配る缶バッジのデザインを手がけました。

Q: 活動を始めたきっかけは何ですか。

A: 小さい時から絵が好きで、母と姉弟の全員も絵が好きでした。

大学卒業後、長野市内のデザイン事務所で広告デザインの作成に従事しました。依頼主の意向に添うため、幅広く色々な技法を学ぶことができました。父から挿絵を勧められ、その後は色々な方から依頼されるようになりました。クラシックな雰囲気を出したい時は主に切り絵を使用しますが、基本的には好きなように描いています。

Q: お住まいの地域にどんな印象をお持ちですか。

A: 結婚を機に、塩尻市に住むため家を建てましたが、とても住みやすく、野菜・果物などがとてもおいしいです。新しくできた住宅地ですが、県外からの方も含め地域在住の方も居て、子ども育成会や地域の催しに楽しく参加しています。

Q: 仕事に関する学びはどのようにされていますか。

A: 月4回、娘が学んでいた絵画教室に通い、講師から指導を受けながら、主に抽象画を学んでいます。教室には、10代から高齢者まで幅広い年代の生徒が在学しており、良い刺激があります。私が子どもの頃に比べると、男女の役割の垣根が低くなっていると感じていて、忙しいときは、会員の夫が家事を一緒に行い、時間を確保しています。

Q: 将来にどんな夢をお持ちですか。

A: 自然の豊かなところで生活しているので、いろいろなことを吸収しながら、挿し絵・抽象画の世界を深めて行きたいです。



挿絵を担当した絵本。
クラシックな雰囲気を出すため、切り絵を使用した



公民館行事で使用されているレタスをモチーフに描いたキャラクター

豊かな心を育む市民の集いを開催します。

塩尻市では、「人権尊重都市宣言」と「男女共同参画都市宣言」を行い、人権意識の向上と男女共同参画社会の実現を目指し、事業を展開しています。

社会や、家庭の中に存在する偏見や差別等は依然として存在し、スマートフォンなどの普及と相まって、インターネット上での誹謗中傷など、新たな人権侵害も急増しています。

そこで、一人ひとりが人権を尊重する社会や男女共同参画社会の意義や重要性について正しく理解し、社会や暮らしの中で人を大切にする心を育てるため、豊かな心を育む市民の集いを開催します。

○期 日 令和元年12月7日(土)

午後1時半～4時(開場午後1時)

○場 所 レザンホール(中ホール)

○主 催 塩尻市、塩尻市教育委員会

○内 容

- (1) 中学生人権作文コンテスト 入選作品表彰、発表
- (2) 人権擁護委員活動紹介
- (3) 人権啓発講演会

「私たちはなぜ生まれてきたのか」

小説『あん』でハンセン病回復者の人生を描いた意味、

講師：ドリアン助川さん

(明治学院大学教授・作家・歌手)

○託 児 1歳以上から未就学までのお子様を対象

無料で託児できます。(要予約)

○入 場 無料(予約不要)

※手話通訳がつきます。

【講師紹介】ドリアン助川さん



1962年東京生まれ。小説『あん』は英語、独語など13言語に翻訳され、フランスでは2つの文学賞を受賞。また同作は映画化され、世界50カ国以上で上映された。絵本では『フロコダイルとイルカ』がけんぶち絵本の里大賞に輝く。『メガロポリス』『星の王子さま』などのフランス語翻訳書もある。

おすすめブック



スタンフォードの

ストレスを力に変える教科書

ケリー・マクゴニガル著、神崎朗子訳 大和書房

何かとストレスフルな現代。ストレスが健康に与える影響も心配になりますね。でも実は、悪いのはストレスそのものではなく、「ストレスは体に悪い」という人間の「思い込み」だったとしたら？そんな驚きの仮説を、様々な科学的根拠と共に面白く解説してくれます。本書を読めば、自分の体は、いつも自分の味方なんだと感謝したくなるはず。目から鱗の二冊です。

心に折り合いをつけて

うまいことやる習慣

中村恒子、奥田弘美著

すばる舎

89歳で現役の精神科医の中村恒子先生が、人生ほちほち、うまいことやっていくコツを柔らかな関西弁で伝える本書。仕事のこと、子育てのこと、人生のことなど様々な悩みを抱える私たちに、「大丈夫、きつとなんとかなる」「夜になったらまずは寝て、朝になったらまた考えたらええわ」と、まるで目の前で中村先生がにこにこしながらカウンセリングしてくれているかのよう。読んだ後は心がすっと軽くなりますよ。

編集後記

「学びには限りがない」と話す、画家の和田さんと豆腐マイスターの林さん。お二人の向上心と探求心に感銘しました。ためまぬ学びは、ご自身の人生を豊かにするばかりでなく、作品や講習をとおして人々の暮らしにも豊かな彩りをもたらすにちがひありません。活躍が期待されます。

(有賀 則正)

大変な忙しさのなかで気負わず活躍しながら地域との結びつきに取り組み、さらに、技量や知識を高めるため努力を重ねる佇まいは、本当にすばらしく心から感激いたしました。この機会に、多様性を認め合いますべての人が尊重される共生社会に向けて、学びに対する姿勢の大切さをお伝えしました。

(小松 洋子)

今年、ふと思うことがあって今の仕事とは全く別方向の資格の勉強を始めました。年齢的に記憶力の低下は否めませんが、興味のある分野なので「なるほど」と思うことがたくさん。そして一番の収穫は、新たな人との出会い！新鮮です。学び直しは人生のスパイスになりますね。

(黒田 慶子)

学ぶと言う事は、ワクワク、ドキドキ楽しい事です。今回、インタビューを受けていただいたお二人はずっと学び続けているからでしょうか？いつも活き活きとしていて、とても輝いています。どうやら、学びはアンチエイジングにもなるようです。私も楽しく学んで生き続けたいと思います。

(横山 裕美)